

＜ もくじ ＞	
1. 本年度「連続講座」第3回の概要と受付のお知らせ	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3-4
4. 第5回シンポジウム「あれから8年～わたしたちはフクシマを忘れない～ 二点居住という生活のかたち」開催のお知らせ	5
5. 当学会事務局移転のお知らせ	5

1. 本年度「連続講座」第3回の概要と受付のお知らせ

連続講座テーマ：「持続可能な超高齢社会 ～安心の未来に向けて～」(計3回)

2018年度連続講座第3回の開催概要をお知らせいたします。

お申し込み受付中です。ぜひお気軽にご参加ください。

◆第3回講座は2018年12月1日(土)開催です。

講演者：竹信恵美子(和光大学教授)

東京大学文学部卒。元朝日新聞記者。貧困ジャーナリズム大賞受賞。『ルポ雇用劣化不況』で労働ペンクラブ賞受賞。



テーマ：「働き方改革」で日本は幸せな社会になれるか

(講演要旨)

「働き方改革一括関連法案」が成立した。「一億総活躍」政策で、高齢者も「生涯現役」として期待されつつあり、「働き方」のルールと無縁ではない。今回の「改革」は、そんな高齢者も含めた持続可能な働き方にプラスになるのか。その問題点を点検し、年齢や性別にかかわらず幸せに働けるための本当の改革を展望する。

1) 日 時：2018年12月1日(土) 14:00～16:00

2) 会 場：駒澤大学 駒沢キャンパス 本部棟6階中会議室

3) 参加費：1,000円(会場にてお支払いください)

4) 主 催：一般社団法人シニア社会学会

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

※ 第3回の詳細については、別添チラシをご参照ください。

※ お問い合わせ、受講お申し込みはメール、FAX または電話で事務局までお願いします。

電話&FAX：03-5778-4728 eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp

◇連続講座第2回の報告と参加者の感想（アンケート回答より）

第2回講座 笹谷秀光（株式会社伊藤園顧問）：「持続可能な社会～Sustainable Development Goals の実現に向けて」（10月20日）。笹谷秀光さんは、さまざまな企業や行政などの団体が、国連の掲げている「持続可能な社会」の実現を目指す17の目標を、自らの団体の活動に適用し、社会的責任として地球環境の維持や新たな価値創造などを目指して取り組んでいる様子を幅広く紹介され、国際的人脈を通じてその意義を広め、全国各地を回られておられるというお話をされました。また、「三方よし」（世間よし、相手よし、自分よし）という日本企業の考え方の中には、本来この目標が備わっていると、外に発信していくことの大切さを強調されました。

感想1：より身近な事項となりました。ありがとうございました。（60代・女性）

感想2：SDGs 17項目の内容を知らなかったのですが、共鳴いたしました。パナソニック（旧松下電器）考え方（PHP）と共通で正に共感いたしました。

これを具体的に広げるか深めるかまだ課題ではないかと思う。学生や一般の方にもわかるようにするとともに良いと思う。シニア社会学会でも研究課題と思う。

（70代・男性）

感想3：いつも最先端のテーマをとらえて提供されることに感謝いたします。もっと広く発信されて人が集まることを望みます。（60代・女性）



2. 研究会からのお知らせ

（1）第60回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年11月22日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階 第6共同研究室
- 3) テーマ：「自分にとっての『サードプレイス』について」
- 4) 発表者：土岐啓子、吉田隆
- 5) 参加費：300円

※お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願いします。

（2）第114回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年11月28日（水） 18：00～20：00
- 2) 報告者：川村匡由（武蔵野大学名誉教授・シニア社会学会理事）
- 3) テーマ：「防災福祉で『助かる命』『助ける命』～新たな社会保障の概念と政策・活動～」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
東池袋1-44-3 池袋I SPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、阿部（佐藤）までお願いします。

090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

（3）第7回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年11月30日（金） 18：00～21：00
- 2) 場 所：内幸町 日本プレスセンター内 日本記者クラブ 9階ラウンジ
- 3) テーマ：「死ぬまでにしたい5つのこと」

各自が納得できる旅立ちのために、これだけはやっておきたい事柄のうち、
①会いたい人に会う ②伝えたいことを伝える ③やりたいことをやる ④身辺整理
⑤人生を振り返ってみる—等々に絞り、当日はその中の一つについて発表する。

- 5) 参加費：500円

※問い合わせは、中村（nakamura@jass.jp）までお願いいたします。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第27回「シニアのICT活用」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年10月19日（金） 14：00～16：00
- 2) 場 所：ダイヤ高齢社会研究財団 会議室
- 3) 報告者：木戸 裕介（サイバーシニアーズ・ジャパン代表）
- 4) テーマ：「シニアにとってのセキュリティとITリテラシー」

インターネットの利用が日常生活の中で特別なものでなくなってくると、一般の利用者もインターネット利用時のリスク認知や利用の仕方に対する知識の獲得が必要となってくる。シニアにとってITリテラシーとして必要なのは操作方法を学ぶことではなく、ネットワークリテラシーつまりインターネットを利用する上でのモラルであろうと実際の活動での経験も交えて話された。

ITリテラシーで重要なこととして、リスクの理解と認識、迷惑をかけない気遣い、ITの有効利用があると話され、会場からは多くの質問が寄せられた。また、電子メールによる詐欺被害など、実際にどのように対応すればいいのかなど、講師と共にディスカッションが展開された。

専門的な語句の説明も必要であり、実際に対応すべきことなど非常に多岐に亘るため、次回以降の研究会で、各論的に取り上げていくことへの希望が寄せられた。（森 記）

なお、報告者を務められた木戸 裕介氏が急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

※11月はお休みです。

(2) 第113回「社会保障」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年10月24日（水） 18：00～20：00
- 2) 講 師：小島克久（国立社会保障・人口問題研究所）
- 3) テーマ：「東アジアの介護制度の動向と福祉用具の活用」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階

高齢化は東アジアでも急速に進みつつあり、介護制度構築も重要な政策課題である。そこで今回の研究会では、東アジアの介護制度とその特徴、介護サービスや福祉用具の利用について、わが国との違いに焦点を置く形で報告を行った。

世界の高齢者（65歳以上の者）人口はアジアが最も多くを占め、今後のその傾向は続く。東アジアの国や地域の高齢化率は、現在こそわが国を大きく下回る。しかし、今後はわが国が経験した以上の速度で高齢化率が上昇する見通しである。また、高齢者の家族形態の変化、少子化の進行により、高齢者介護を社会全体で支える仕組みが必要になりつつある。

世界的には普遍的な介護制度が整っている国や地域は少ない中、東アジアの国や地域ではそれぞれに介護制度を構築しつつある。韓国では2008年に「老人長期療養保険」（介護保険）を実施している。保険者は国民健康保険公団で、単一保険者である。台湾では介護保険が検討されていたが、現在は「長期照顧十年計画2.0」による税方式の介護制度である。わが国の「地域包括ケアシステム」を参考にした地域密着の介護サービス提供体制を目指す一方、外国人介護労働者への依存度も大きい。中国では介護保険モデル事業を15カ所の都市で実施している。その内容は都市により異なるが、大まかな特徴として、医療保険の仕組みや基金の活用、給付対象が非常に限定されていることなどである。

介護サービス、福祉用具の利用についてみると、東アジアの国・地域によってその意味合いが異なる。特に、福祉用具はICT技術を活用した製品が多くなっているが、規格の違いやわが国では想定していない利用法などの側面がある。一方で日本の福祉用具の普及を図る動きもある。

このように、東アジアの介護制度は多様であり、福祉用具の活用のされ方も多様である。そのため、わが国の介護制度や福祉用具は、現地のニーズに合わせた制度設計や活用のさせ方が重要である。（小島克久 記）

(3) 第59回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年10月25日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階 第6共同研究室
- 3) テーマ：「サードプレイス」について
- 4) 発表者：薄井滋、佐藤敬、島村健次郎

前回の研究会で、濱口座長は「シニアに成り難し」を解くカギは「サードプレイス」の効用が大切であると述べられた。今回は当「サードプレイス」をテーマに発表と討議を行なった。

薄井滋さんは、Ray Oldenburgの著書『The Third Place』を原書で読み解き、ポジショニングマップを作成しサードプレイスを解説された。そしてサードプレイスは創造的な交流の場所で、キーワードは解放とソーシャルであると説明された。

佐藤敬さんは、「私のサードプレイス」とのタイトルで、サードプレイスへの思いをまとめた。(本人欠席のため、島村事務局が資料を代読) オルデンバーグが提唱するサードプレイスは、日本社会においてもその存在意義は高まって来るからかもしれないと思うが、自分には家族と共に過ごす家庭というファーストプレイスが、最もくつろげる居心地の良い「自家製のサードプレイス」とも言えるとの思いを示した。

島村健次郎さんも「私のサードプレイス」のタイトルで発表した。サードプレイスは人それぞれの人生観、価値観、生き立ち、素質、環境などの違いにより異なると思う。共通のコンセプトは観念的であるが、①生きがい ②幸せ感 ③満足感・充実感のある人生 ④自己実現性の4点ではないかとの考えを述べた。(島村 記)

(4) 第6回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年10月26日(金) 18:00~21:00
- 2) 場 所：内幸町 日本プレスセンター内 日本記者クラブ 9階ラウンジ
- 3) テーマ：「人生、思い出の〇〇〇は、何か？」

各自が自分を変える程のインパクトがあったヒト、モノ、食べ物の味等々、ジャンルは問わないが一つ選んで記述する。さすが個性派ぞろいの研究会メンバーだけに、あれも、これも、えっそんな秘話までも、と驚嘆するような話まで披露され、会は最後まで大いに盛り上がった。

ここでは、参加者名とその方々の「思い出の〇〇〇」について、「モノ」を挙げたのが2人、「食べ物の味」2人、「ヒト」も2人、「場所」が1人—それらが何であることを記載することにどめますが、詳細は「ライフプロデュース」研究会のブログをぜひ御覧ください。

(敬称略)

- ①三橋建一 =52年間も肌身離さず付けているオメガ製の腕時計。妻へプレゼントしたトパーズの婚約指輪のお返しとして貰った品である。私の命が尽きるまでは、時を刻み続けてほしいと願っている。
- ②中村昌子 =航空会社の客室乗務員時代にNYの高級老舗玩具店「FAO・シュワルツ」で出会う憧れのバービー人形。欲しくても手に入らなかった幼い、少女時代のほろ苦い思い出も。やっと手に入れたバービーは今でも毎朝、部屋の机の上で微笑み続けてくれている。
- ③寺本真子 =小学校3年生の時、習い事で通っていたフランス語の先生が焼いてくれたという「パウンドケーキ」。そのほのかな甘みが口の中ですりすりする味を忘れがたく、「いつか私もケーキの焼けるお母さんになろう」と決意。それから何十年が過ぎ、2人の息子の母親に。毎晩、毎晩、夜中まで失敗を繰り返しても焼き続けた。今では、大人になった息子たちに「おふくろの味ってある？」と聞くと「パウンドケーキとシフォンケーキかな」と答えてくれるのが、なんとも嬉しい。

(皆川 記)

4. 第5回シンポジウム「あれから8年～わたしたちはフクシマを忘れない～ 二点居住という生活のかたち」開催のお知らせ（再掲）

- (1) 日 時：2018年12月8日（土） 14:00～17:00
(2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館 3階 382AV教室
(3) 司会・進行：長田攻一（シニア社会学会「災害と地域社会」研究会座長）
川副早央里（東洋大学社会学部社会学科助教）
松村治（早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員）
(4) 映画上映：板倉真琴監督「ひとと原発」（第5回シニア社会学会シンポジウムVer）
(5) 話題提供者：
大坊雅一（東雲住宅避難者自治会「東雲の会」事務局長、浪江町出身、東京都在住）
二俣公子（東雲住宅避難者自治会「東雲の会」理事、富岡町出身、東京都在住）
田中美奈子（いわき市在住富岡町民自治会「すみれ会」会長、富岡町出身、いわき市在住）
(6) コメンテーター
伊藤まり（浪江出身、神奈川県在住）
浦野正樹（早稲田大学教授）
(7) 参加費：無料
(8) 申し込み方法：お申込みは、添付のチラシの裏面をご参照ください。
※ 共 催：早稲田大学総合人文科学研究センター <現代社会の危機と共生社会創出に向けた
研究>部門
※ 後 援：早稲田大学地域社会と危機管理研究所
※ 詳細については、添付のチラシをご覧ください。

5. 当学会事務局移転のお知らせ

当学会事務局は、長い間パールビル4階でお世話になってきましたが、11月末にすぐ近くのナカヤビルに移転いたします。今の事務局から徒歩3分で、電話番号とFAX番号は移転後も変わりません。新住所は、以下の通りです。

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202
電話&FAX：03-5778-4728

これまでのパールビル4階の事務局は11月28日（水）をもって閉室し、新事務局は11月30日（金）から開室いたします。

なお、移転に伴う作業のため、29日、30日両日は日中電話とFAXを受信しづらいことが予測されますので、ご了承ください。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>